

北部地区学校再編計画（案）説明会

日時 5月21日（火） 午後7時から午後9時10分

場所 北部ふれあいセンター

参加 113人（保護者69人、地域住民36人、その他8人）

質問・意見

発言者A

- 今回始めて参加。
- 再編計画策定委員会のメンバー構成は。
- 8月に結論、R3に統合など初めての参加でこの説明内容でびっくりした。
→策定委員会委員は再編該当校の小中学校長、及び教育部長、市長部局の市長戦略部長、行政経営部長、学校教育課長です。
- PTA代表はでていないのか。
→入ってはいません。
- PTAが入っていないのはおかしいのではないか。
→今まで保護者や地域向けの説明会を何度か開催させていただいております。
- 今日、参加が初めての方がいる。今日の説明では統合ありきでなはいか。
→あり方検討委員会と教育環境適正化検討委員会を合わせて4年前から検討してきました。適正化検討委員会にはPTAが4名入っており、その後の周知として地区説明会を昨年度来、行ってきています。
- なかなか納得できない。どこの学校のPTAか。
→伊太小、北中、市P連代表、湯日小です。北部地区の代表者にも入ってもらいました。
→3月26日に説明会を開催し参加者は110人でした。今回初めての方が多く、ということは無いのではないのでしょうか。
- 初めての人は挙手を願います。

発言者B

- 再編計画案P3,6の内容は決定事項なのか。
→今の段階では案ですが、この方針で進めたいと思っています。
- 伊久美小はバス通学になるのか。
→スクールバスになると思う。P6のとおり今後検討課題としています。
- スクールバスはどこからか。
→小学生4km、中学生6kmの基準はありますが、状況に応じて対応したいと考えています。

- バスの費用はどうか。
- スクールバスとなれば、市の負担で運行します。
- 跡地利用については。現在、案を持っているのか。
- 今後市全体で考えていきます。現在は未定ですが、お金がかかることなので、副市長をトップとした学校跡地利活用検討委員会を設置して検討していきます。

発言者C

- 前回も参加。
- 前回の説明では、スクールバスは出すとの話だったが、キロ数が出てきた。
- キロ数はあくまでも目安で、状況に応じて検討したいと考えています。
- 交通事情もあります。特に鵜網地区などは歩いて帰るのは危険です。交通状況を勘案して検討していきます。
- キロ数については、前回の説明から後退しているものではなく、国県の基準を申しただけですので、安全は確保したいと思っています。
- 部活動に関しては、保護者の送迎となるのか。
- 現在スクールバスを運行している川根中、金谷中においては、土日の運行はありません。予算のかかることなので、市長部局と協議していきたいと思えます。

発言者D

- 北中1年保護者。
- 2年後の統合ときいた。個人的にはびっくりしている。
- 〔案〕ということだが、どれくらい前に正式決定するのか。
統合が案より早まるのか遅くなるのか。また、どのくらいの期間で発表をしてもらえるのか。
- 最終案をパブリックコメントにかけて、正式決定は今年8月を予定しています。

発言者E

- 北中保護者。
- 一中と統合したとき、制服、教科書の費用は。
- 制服は、出来るだけ保護者負担がないように配慮していきますが、この場で明言はできません。また、教科書は志太地区で同じものを使っていますが、教材は揃えていく必要がありますので、なるべく保護者負担がないように対応を考えます。

発言者 F

- 北中と一中の統合により、バスで通うほど離れておらず、かといって徒歩通学では遠い場合は、今までどおり自転車通学を認めてもらえるのか。現在の一中は自転車通学を認めていないと聞いている
→自転車通学についても検討が必要です。

発言者 G

- 前回からの参加。
- 相賀小保護者だが、自治会役員もかねている。
- アンケート結果についての率直な意見。中学校の統合は74%が望まれているが、北部4小学校については、その他を合わせると6割の方が賛成していない。賛成していない方に訴えかける具体的な施策は考えておられるのか。
→こうした説明会で御意見を頂いていきたいです。
- 跡地利用検討委員会にはPTAや地域代表者をいれるのか。
→地域の皆様の思いもありますので、今後立ち上がる予定のワーキンググループに、ぜひ入っていただきたいです。

発言者 H

- 根本的なことで。以前から「地育」と聞く。統合は教育の観点ではよいのかも知れないが、地域から学校が無くなったときの「地育」とは何となるのか。
- 学校がなくなることで、過疎化が進む、高齢化が進む。そうなるコミバスも減らす方向に行政が舵を切る。そういうところは考えてくれているのか。(地域に係ることを考えてくれているのか)
→跡地利活用検討委員会での検討課題です。各小学校で行ってきた地域の特色ある活動を跡地で行うなど、智恵を出していただいて形にしていきたいです。
→教育環境適正化検討委員会の提言書等で跡地利活用方法の例示が出ています。その中から何を選ぶか、これから地域の方と一緒に考えていくものです。
(相賀小の相賀谷太鼓の例で説明)
- 学校が統合したら、文化や地域が無くなるわけではありません。文化や歴史をどのように教育に残すのか、という点をカリキュラム等検討委員会で考えていきます。
- その部分が確実、明確化されていないため、地域は不安になっているのでは。
- 地域の方は説明会にこない方が多い。なので地域の意見が出ているか不安。
- 子供が減っているなら、減らさない、増やすことは考えないのか。
耕作放棄地を宅地として販売し、人を呼ぶとか。
→移住・定住問題は市長部局で取り組んでおり、市全体を上げて考えていく課題

です。人口問題は避けて通れない課題で、現在も空家バンク事業等色々な施策をとっていますが、雇用がネックになっています。金谷地区の工業団地誘致、金中跡地のアウトレット誘致などの動きが増えれば、雇用が増えていくと思います。

発言者 I

- 前回から参加。
- 前回も今回も話がすっきりと見えてこない。
- 小中学校、地域のこと、それぞれがふんわりとした話であるのに短い期間で対応しているように感じる。
- 「降って湧いた話」と「意見は聞かれていない」という不安を感じる。
- 中学校の統合は聞いていたが、2年後の統合には賛成していない。
- 2年後と小学校の5年後の話と一緒にされても不安になる
- 今日、細かい話があると思ってきたが無かった。
- 統合を決定してから細かい点を決めていくのは、順序が逆ではないか。
→「細かい点」、「不安な内容」とはどのようなことでしょうか？検討していきたいので、ぜひ教えてください。
- コミバス、教員の配置。子供たちの心に沿った具体的な内容が見えてこない。
- 夏に結論をつけるなら反対。
前回の意見交換会で出た意見に対しての回答がでて、疑問点が解消していくことで統合の時期が決まっていくなら分かる。
→現状は案の段階ですが、現在検討している具体的な事例として、部活動の人数確保のための合同チーム・合同練習、人数の多さに圧倒されないための偏りのある学級編成などがあり、中学校間で話し合っていて決めていきます。通学手段についても見極めながら決めていきます。
- 私は北中1年生23人の保護者の一人である。
- 受検の年（3年）に統合となる。
- 今まで意見を聞かれていないのに、なぜ決まっているのか。
- 小中学校別の説明をしていただかないと、1つ1つ解決していかないと、統合の日は決められないのではないか。
→1つ1つの学校に説明させていただきたい。

発言者 J

- 前の発言者と同じ意見。
- 在学途中での統合は不安。
- 最初から一中か、もしくは最後の卒業生になってもいいから北中で。

- お金や教育委員会の都合で決めているのなら、子供に負担を強いている。子供がかわいそうだし、自分も負担だ。
 - 統合は2年後と言うが、準備や保護者の意見を言う場が無い。
 - とても残念。お金が無くて教員の確保が難しい、というのが本当ではないか。
 - 中学校は大事な時期。意見を聞いて欲しい。
- おっしゃった意見は理解しているところです。先日、神座自治会中心の話し合いに参加しましたが、そこでは伊太小の卒業生の半数は私学に進学しているとのことでした。好きな部活を選べないのが理由とのことで、ぜひ考えていただきたい点です。
- 市長が巡回したタウンミーティングでも統合の話はできました。思春期の時期に、部活は大きなものです（部活だけが理由ではないが）。
- 教員定数は法令で決まっているもので、市の予算で配置しているのではないことをご理解ください。また、予算の関係での統合ではありません。在り方検討委員会、教育環境適正化検討委員会での委員長を務めた武井先生からは、子供の教育としてどうしたらいいかという立場で検討した、との話がありました。教育委員会の考えで導くのではなく、地域の意見を汲んで結論を出してくれました。

発言者K

- 北中保護者。
 - 前回、前々回と参加。
 - 「2年後の統合」と知ったのはつい最近。もっと早く言って欲しかった、その思いが消えない。
 - 統合はいたし方が無いと思うが、具体的なものが分からないところで、2年度に一中にいかなければならないのは不安。
 - 今からでも準備は始めて欲しいが、2年後の統合は変わらないのか。
- 現段階では案であって、最終ではありません。パブリックコメントを実施後に正式決定となります。正直な話、長い間検討していることでも有り、また検討委員会でも了承を得た案です。そこを変えるのは大きな理由が必要だと考えます。

発言者L

- 意見として。現在中3の子有り。受検が入るとナーバスになる。その時期に他の学校に入るのは避けたほうが良い。受検だけでなく、人間関係も崩れる可能性がある。
- クラス編成は別々にして欲しい

- 在学途中の統合。制服の問題。学校内に異なる制服が混在するのは？
 - 長子で使った制服を次子で使いたい親もいる。制服が変わることでそのような負担がある。
- 学級編成は配慮します。また、制服についても経済的な負担を抑えられるよう考慮していきたいと思っています。

発言者M

- 今回2回目の参加（3月説明会は欠席）。
 - 8月決定を始めて聞いた。
 - 8月までにHPなどで意見を徴集すると言ったが、このような会は開くのか。
 - 中学校の意見を言ってしまうがちだが、小学校の意見を聞く場を設けるのか。
- 要望があるところには出かけています。（月曜日も出かけた。喜んで何う）
- お申し出いただければ、できるだけ要望に答えて参加します。
- 今日のような説明会はないのか。
- 御希望のとおり、個々の学校別説明会にしていきます。
- 保護者としてはどこに意見を言えばよいのか。
- 学校長でよろしいです。

発言者N

- 2点伺いたい。P5の文章
- ①「この結果、リニューアルに合わせて統合がベターである」とあるが、何を持ってベターなのか。リニューアルに合わせる必要があるか。
- ②結論は策定委員会が8月に決めるのか。
- ①一小、耐用年数が来ています。そのため改修若しくは改築を行い、子ども達を受け入れるスペースを確保した上での統合を想定しています。
- なぜ、北部4校が一小に行かなければならないのか。
- ①北部4校学区のH29出生児数、18人です。適正化検討委員会で、一学年20人を切った場合は統合を検討するよう、提言されています。H29に産まれた子を考えると、出来るだけ早い統合が望まれますが、改築中では申し訳ないので、改築後とさせていただきます。小校舎の躯体に強度があればスケルトン形式の改修で、強度が無ければ改築となります。
- ②策定委員会で決定した最終案を教育委員会定例会で付議し、正式に決定となります。基本的には策定委員会が作った最終案で決まると考えています。

発言者O

- お願いとして。策定委員会のメンバーに話し合いに来てもらえないか。直接み

んなの意見を聞いて欲しい。
→申し入れを受けるかどうか、委員の話し合いが必要です。今日も各学校長が来ていますので、生の声は届いています。

発言者P

- 2度目の発言。
- 「8月の決定までに細かい部分の説明会を設定してくれれば」との言い方が、呼ばなければこない、というスタンスに見える。残念。
- 地域の方は地域の学校に子供を通わせたい。
- 今までの意見交換会の状況から、みんなの意見を汲んでくれていないと思う。
→不信感を作ってしまう言葉となっていたのなら、謝りたい。各学校PTAや校長の意見も聞きながら決めていきます。

発言者Q

- 3月も参加。そのときも発言した。
- 一小保護者の知人有り。
- 一小保護者は学校再編の話を聞いていない、とのこと。
- 校舎も改修ではなく改築で是非お願いしたい。(この場で約束できないか)
→耐力度調査の結果によって改修・改築は決めるので、今の段階では約束できません。ただ、改修にしろ、改築にしろ同じ程度の工事となります。文科省の基準に沿った補助金を受けて工事となります。

発言者R

- 統合の話が聞こえてきたのは、今年の今頃。
- 初倉地区も含め、多くの学校がいったんに無くなることに驚いている。
- 話の進め方。丁寧にやっていただきたいと思う。
- 北部地区の小学校は特徴のある教育を行っている。それがいったんになくなるのは残念。
- 8月に決定されることもびっくり。
- 一小保護者の意見は。
- あせらないで欲しい。発言したい人はいっぱいいると思う。
- 地域に子供の声がなくなってしまう。

発言者S

- 統合の話、相手方(一小、一中)にも情報が行っていると思っていたが。
- 中学校については2年後と聞いてびっくり
- 子供は集団生活をすると、他の子が来ても受け入れがたい。状況を飲み込むの

に時間が掛かる。

- 今の時点から言い含めてもらわないと、拒否反応する子が出ると思う。
 - 先生方に子供たちが納得するまで何度も諭してもらわないと無理。早急な対応を。
- 笹間中統合の際は1年間交流を行ったので、少なくとも1年は必要だと感じています。交流はR2に行う予定で、出来るだけ子供にストレスが無い受け入れが出来るように進めていきます。

発言者 T

- 来年度から伊太小に通う子がいる保護者。
 - 通う学校を選べないのか。
- 統合の話が出ると、必ず出る課題です。ですが、選択できるようにしてしまうと、統合までの伊太小の存続が危うくなり、複式学級編成にもなりかねません。
- 通学校については、通学区審議会で検討することで、教育長の一存では決められません。子供の数で教員数も決まるので、簡単な問題ではないです。

発言者 U

- 伊久美小の特認校制度の存続はどうなるのか。
- 伊久美小の大きな魅力であり、策定委員会でも話題となっています。どういう形で残すかは、今後決定していくこととなります。(特認校のため伊久美小を残す／伊久美小を統合するなら特認校を別に)
- 他校に移すとして、どこに特認校を持っていくのかを検討しないとなりません。伊久美のような自然豊かな場所と考えるなら川根というのも、一つの案ですが、新しい学校を作るのではなく既存の学校に設置する方向になると思います。

発言者 V

- 伊太小保護者。
 - 今回初めて参加。遅刻もしてきて質問が先に出ているかもしれないが。
 - クラス編成、スクールバス、部活等々、今後話し合っ決めてとのことだが、8月までに決まるのか。委員会に保護者や地域の方は入るのか。
- カリキュラムは統合までに整理していくことであり、8月までではない。時間を掛けて行う。(伊太小の焼き物の例)
- 教員を通して保護者等の意見を吸い上げます。
- 意見があれば、先生に言えばカリキュラム検討委員会に伝わるのか。
- 基本的には先生で大丈夫です。跡地利用については、地域の方に話を聞かなく

ればなりません。

- 8月までに決まることは、いつ統合するかであって、細かいことは後ほどということか。順番が違うと言う話があったが、細かいことが先でよいのか。
- カリキュラム検討委員会は教頭、教務主任で構成します。学校間の話自体は今でもできます。部活然りで、早めに決めることは決め、地域の方に随時情報発信をしていきたいと考えています。

発言者 Y

- 川根地区について。土日、部活に行くため、ジャージ若しくは制服だと無料でコミバスに乗せてくれる。
 - 統合に伴う不安に通学がある。
 - 一中に通じる路線だけなら、川根中と同様な扱いが出来ないか。(この場で約束してもらえませんか)
- 即答できませんが、前向きに検討したいと思います。通学については配慮が必要です。

発言者 Z

- 教育環境適正化検討委員会の委員であった。その際、教育云々よりも国の方針で持っでの意見を述べた。
- 特に中学校は部活があるので、早期にと意見を言った。
- 小学校は伊太小は統合との意見があったが、伊久美小は距離の問題がネックである。検討の余地ありと結論付けた。
- 今回の内容が地域に伝わっていない。今の考え、方針をお知らせすることが大切。
- 「8月に結論」、次年度予算編成との兼ね合いがあることは分かりますが、地域や保護者の意見を汲まないといけない。違和感の無い納得を得る説明を(要望です)。
- 再編については、保護者がまず方針を決めるべき。方針が決まった段階で、地域に入っていく。

(補足) 発言者

- 神座自治会
 - 自治会としてもいろいろな意見がある。自治会での意見交換会を行っていたきたい。
- 御希望ありましたら、日程調整いたします。

